

3. 研究評価

3. 1. 気象研究所評議委員会

気象研究所評議委員会の役割

気象研究所評議委員会は、気象研究所長に対し「気象研究所の運営及び研究開発課題に関する助言」及び「気象研究所が経常的に実施する研究課題の評価及び評価結果の報告」を行うため、平成7年12月に設置された委員会であり、気象業務に関する研究について広く、かつ高い見識を有する研究所外の外部有識者により構成されている。

また、経常的に実施する研究課題の評価にあたっては、評価対象となる研究の分野にあわせ、評議委員の中から「気象研究所評議委員会評価分科会」の委員を選出して実施している。

令和6年度気象研究所評議委員名簿（五十音順、敬称略）令和6年8月時点

委員長	岩崎俊樹	東北大学大学院理学研究科 名誉教授
委員	植田宏昭	筑波大学生命環境学群長
	沖 理子	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 地球観測研究センター センター長
	小畑 元	東京大学大気海洋研究所 教授
	小泉尚嗣	滋賀県立大学 理事・副学長
	三枝信子	国立研究開発法人 国立環境研究所 地球システム領域 領域長
	佐藤 薫	東京大学大学院理学系研究科 教授
	関口渉次	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 契約研究員
	坪木和久	名古屋大学宇宙地球環境研究所 教授
	中村 尚	東京大学先端科学技術研究センター 教授
	西村太志	東北大学大学院理学研究科 副研究科長
	馬場俊孝	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授
	保坂直紀	東京大学大気海洋研究所 特任研究員

令和6年度の開催状況

令和6年度は、次のとおり第53回気象研究所評議委員会を開催した。

第53回気象研究所評議委員会

日 時：令和6年11月25日（月） 13時00分～15時00分

場 所：気象庁会議室2（気象庁6階）・オンライン開催

出席者：

（ 委 員 ） 岩崎俊樹 委員長、植田宏昭 委員、沖 理子 委員、小畑 元 委員、小泉尚嗣 委員、佐藤 薫 委員、関口渉次 委員、坪木和久 委員、中村 尚 委員、西村太志 委員、馬場俊孝 委員、保坂直紀 委員

（気象研究所） 所長、研究総務官、研究連携戦略官、企画室長、全球大気海洋研究部長、気象予報研究部長、気象観測研究部長、台風・災害気象研究部長、気候・環境研究部長、地震津波研究部長、火山研究部長、応用気象研究部長、企画室研究評価官

議事概要

○気象研究所評議委員会 委員長代理を中村委員に決定

○議事1：中期研究計画の進捗、来年度以降の計画及び評価スケジュールについて

- ・現中期研究計画の概要と、横断的な取り組みの進捗について説明した
- ・基盤技術研究3課題についての事前評価結果と進捗、来年度以降の計画について説明した
- ・課題解決型研究2課題と応用気象研究1課題についての事前評価結果と進捗、来年度以降の計画について説明した
- ・地震・津波研究および火山研究の2課題についての事前評価結果と進捗、来年度以降の計画について説明した
- ・中間評価実施スケジュールについて説明した

○議事2：気象研究所の最近の研究活動について

- ・令和5年度に実施した研究活動、外部資金の獲得状況、得られた成果、及び成果の活用並びに普及啓発活動について報告した

3.2. 気象研究所評議委員会評価分科会

気象研究所評価分科会は、重点研究課題の外部評価を実施するため、評価対象となる研究の分野にあわせ、気象研究所評議委員から委員を選出して構成されている。

令和6年度の開催状況

令和6年度は、事前・中間・終了時評価に該当する研究課題がなかったことから、気象研究所評議委員会評価分科会は開催しなかった。

3.3. 気象研究所研究課題評価委員会

気象研究所研究課題評価委員会は、国の研究開発全般に共通する評価の実施方法のあり方についての大綱的指針（平成9年5月）、運輸省技術開発推進本部での運輸省研究開発評価指針（平成10年2月）により課題評価の実施について定められたことから、気象研究所における研究開発課題の評価を実施するために設置された。その結果は、効果的かつ効率的な研究の推進のために積極的に活用されている。

令和6年度気象研究所研究課題評価委員名簿

委員長	中本能久	気象研究所長
委員	山中吾郎	研究総務官
	藤田 匡	研究連携戦略官
	小川 智	企画室長
	高槻 靖	全球大気海洋研究部長
	永戸久喜	気象予報研究部長
	岡本幸三	気象観測研究部長
	加藤輝之	台風・災害気象研究部長
	須田一人	気候・環境研究部長
	中村雅基	地震津波研究部長
	中村浩二	火山研究部長
	村田昭彦	応用気象研究部長
	藤原弘章	企画室研究評価官

令和6度の開催状況

令和6年度は、下記のとおり気象研究所研究課題評価委員会を開催した。

気象研究所研究課題評価委員会

日 時	令和7年2月3日（月）	13時10分～15時40分
	令和7年2月5日（水）	10時20分～11時20分
	令和7年3月3日（月）	11時00分～11時30分

場 所：気象研究所部長会議室（オンライン併用）

委 員：山中吾郎、藤田 匡、小川 智、高槻 靖、永戸久喜、岡本幸三、加藤輝之、須田一人、中村雅基、中村浩二、村田昭彦、藤原弘章

議事概要

・課題評価、年次チェックアップ

経常研究8課題の年次チェックアップ、地方共同研究1課題の年次チェックアップ、緊急研究1課題の事前評価を実施した。事前評価の結果については下記のとおり。

評価結果

事前評価

「（緊急研究）線状降水帯・台風等に関する集中観測による機構解明及び予測技術向上（令和7年度～令和10年度）」

1. 総合評価

- (1) 実施の可否：可
- (2) 修正の必要の有無：修正の必要なし

2. 総合所見

本研究は、線状降水帯・台風等による気象災害による被害の防止・軽減に向けて、出水期を対象とした大気と海洋の集中観測を実施することにより、それらの機構解明を進めるとともに、予測技術の開発を行う先進的な研究計画となっている。研究対象が大気から海洋まで、また研究方法としても観測、数値モデルからキキクルまで幅広い内容であり、気象研ならではの総合的な研究課題と言える。なお、研究の実施にあたっては、以下の点について留意して進めて欲しい。

- ・観測から解析、予測まで多岐に渡る研究テーマを含むため、課題全体の研究目標がやや見えにくくなっているので、気象業務への貢献を強く意識して研究を進めていただきたい。
- ・目的・目標を具体的に記述して、国民への利益享受をより明らかにしていただきたい。